雛鶴の子の四季の哥

特へ遠13
1970

離節四季の替歌

神玉水
作者 口上
高原氏

夏の巻

つぎ　モシわるさハまだ熱さんでハござり
ませぬゝと名をさされていぶ〳〵く
いろ〳〵もまだ熱とわがまゝしてもらが
名をもつてよやぞ〳〵そのうちけハは
ねあまえはトもてあバろて押ひらき
○こゑやとちり〳〵ゆづらきはちざさ
ゆめうとそろりゆうまて〳〵くぞんじ
ら〳〵ゆうまりそもあ
くごりぬくりまゞまのふちまつとあり〳〵

▲わまこのよハちまひをりゆきくけそ
まこ風やゆて帝あふゆきうんとゆさ
このとろ〳〵ゆそ海ハ山〳〵ゆれど
かの〳〵あのあぐりゆそ色ゆ
ゆくさまろうるうるうぶゆまわや
あげひめぞこてくとく〳〵百に
ふぞゆてこそとぶろハこ
さるふまろり

山東京山作

歌川國丸画

東都通油町北新道

藤屋棟助版

七夕の星月夜
秋の夕べ村雲
乃巻

春風屋
春風屋

作者目

山東京山作
哥川國丸画
骨董集 三編 京傳遺稿 京山補訂
女粧考 京山編
備筆 晋米齋亜粒